

進行又は再発の子宮頸癌
キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン併用療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース:21日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
コース数 パクリタキセル、カルボプラチン:最大6コース キイトルーダ:最大35コース 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》						
【3剤併用療法】1~最大6コース目						
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—		
①	キイトルーダ: 200mg/body 生食 100mL	mg	Day1	30分		
前投薬・内服	レスタミン NK1受容体拮抗薬	5錠	Day1	30分前		
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+H2R拮抗剤+生食100mL		Day1~	30分前		
②	パクリタキセル:175mg/m ² ソルデム3A 500mL	mg	Day1	3時間		
③	カルボプラチン:AUC(5) 5%ブドウ糖液 250mL	mg	Day1	1時間		
【3剤併用療法終了後】3剤併用療法期間を含め、最大35コースまで						
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—		
①	キイトルーダ: 200mg/body 生食 100mL	mg	Day1	30分		

◆カルボプラチン:投与量=AUC×(GFR*+25) *GFRはCockcroft-Gault式によるCrを用いる。
CCrが130mL/minを超える場合は、130mL/minとして投与量を算出する。カルボプラチンは最大775mg/bodyとする。

佐賀大学医学部附属病院